



尊者

グアダルーペ・オルティス・デ・ランダスリ

私的信心の祈り

父なる神よ、尊者グアダルーペの取次ぎによって、私が彼女のように愛を込めて日常の仕事を果たし、信仰と喜びを周囲の全ての人に伝え、皆が御身をより良く知り愛することができますように。御身のしもべに栄光をお与えください。そして、その取次ぎによって、私のお願い（ここでお願いする）をお聴き入れ下さい。アーメン。

主の祈り アヴェ・マリアの祈り 栄唱

教皇ウルバノ八世の教令に従い、教会当局の判断を予想した  
いかなる事前行為も行う意図のないこと、またここに記載さ  
れた祈りは公的崇敬のためでもないことを宣言します。

グアダルーペ・オルティス・デ・ランダスリは、1916年12月12日、マドリッドで生まれました。彼女は、オプス・デイ初期の女性信徒の一人で、逞しく勇敢な人でした。専門は化学で、後年博士号を取得しました。

神への愛とそれを他者に伝える熱意に燃えていました。ご聖櫃の前での祈りは長時間に及んでいました。聖母に対する信心が深く、特にグアダルーペの聖母により頼んでいました。家事、教育や研究などの仕事を、キリストに出会い、人々に仕える場にしていました。

積極的に人々を手伝い、神に導く人で、若者や社会人、母親たちの形成のため、種々の活動を推進しました。メキシコでオプス・デイの使徒職活動を始め（1950-1956）、幾多の学生寮と、農業学校と移動診療所を開設しました。

彼女を知る人は、彼女がいつも笑顔を絶やさず明るく、喜びと楽観的な態度を伝えていたことを覚えています。皆を愛していました。開放的で愛情深い性格で、様々な人々の間に信頼感を根づかせ、キリストとの親しさを培う望みを育みました。

グアダルーペは、1975年7月16日、聖性の誉の中に、パンプロナで帰天しました。彼女の模範に倣った多くの人々が、彼女の神への取次ぎにより頼んでいます。2017年5月4日、教皇フランシスコは、彼女が英雄的に諸徳を実行したと宣言されました。

参照：[www.guadalupeortizdelandazuri.org](http://www.guadalupeortizdelandazuri.org)

---

彼女の取次ぎによって恵みを得た方は、オプス・デイ属人区までご連絡ください。

〒659-0095

芦屋市東芦屋町 12-12 ハウス 104

Eメール: [info@opusdei.jp](mailto:info@opusdei.jp)

(教会認可済)